



## 七転八起 ～失敗は、挑戦している証拠～ 副校長 杉山貞文

先日、高学年の児童に「何かいい四字熟語はありませんか。」と聞かれました。「どうしてそんなことを聞くの。」と逆に聞くと、「テレビの特集で取り上げられていたスポーツ選手の座右の銘が『不撓不屈』で、意味を調べたら、すごくいいことが書いてあったんです。だから、自分にも、何か支えになったり、頑張る気持ちにさせてくれたりする言葉が欲しいと思ったので聞きました。」という答えが返ってきました。

『言葉』に惹かれ、「その意味を知りたい」「自分の支えにしたい」という子どもの思いがとても嬉しかったので、すぐにスマートフォンでいくつかの四字熟語の意味を調べてみました。実に多くの四字熟語と、その言葉に込められた思いや強い意志、信念のようなものが伝わってくる意味が載っていました。それら多くの四字熟語の中から、私が上寺尾小学校の児童の皆さんに贈りたいと思った言葉がありました。それは、本のタイトルや座右の銘としてよく使われる『七転八起（ななころびやおき）』です。この言葉の意味は「**何回失敗しても挫けず、何度でも立ちあがって努力すること**」です。聞いたことがある人や、意味を知っている人も多い、有名な四字熟語だと思います。なぜ有名なのか。それは、この言葉のもつ意味が、多くの人々を支え励まし、何かの目標に向かって頑張る時や、日々を生きていく中で、活力の源・生きる力となっているからではないでしょうか。

何かを成し遂げたい事がある人にとって、挫けずに努力することは当然のことと思われるかもしれませんが、努力もせずに結果を欲しがるのは、考えが甘いと私も思います。しかし、困難や失敗をくりかえしている状況においても、あきらめずにもう一度立ち上がって挑戦するというのは、「本当に成し遂げたい」と自分が強く思わなければ、決してできないことだと私は思います。また、掲げた目標があまりにも高すぎる場合などは、「頑張りたい」という気持ちをどんなにもっていても、失敗や敗北が続くことで落ち込み、立ち上がれなくなってしまうことがあるのも事実です。

児童の皆さんにこの言葉を贈る上で伝えたいことは、めげずに頑張りを続けるための考えの一つとして「失敗＝やってはいけないこと」ではなく、「何かを成し遂げるには、敗北や挫折、失敗はマイナスなことではなく、むしろそのどれもが、次の成功のための一部」と考えていきませんか、ということです。たいして難しくもないことにチャレンジするのであれば、成功して当たり前で、失敗はありません。しかし、何度も失敗するのは、難しいことに挑戦している証拠。やる気を失うことはありません。逆に、そうできている自分を何度も奮い立たせ、そのチャレンジを肯定し、何事にも前向きに立ち向かっていってほしいと思います。 『七転八起』 何度失敗しても挫けず立ちあがって努力する。

### ☆今月の上寺尾短歌☆

失敗も 努力も夢も 誰のため がんばる自分を 自分が誇ろう  
「何度でも」 ドリカム至極の 一曲です 1000・1回目に笑おう

### ☆児童支援専任 田中からの一言☆

暗くなる前に、家に着くようにしましょう。